

スマートビル将来ビジョン検討会の開催について

令和4年9月20日
経済産業省
独立行政法人情報処理推進機構
デジタルアーキテクチャ・デザインセンター

1. 趣旨

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)デジタルアーキテクチャ・デザインセンター(DADC)は、Society5.0の実現に向け、社会システムや産業構造の最適な連携等を通じ、その総合的な信頼性等の確保と日本の産業競争力の強化を図ること、また社会的課題を解決することを目的とする活動の一つとして、多様なステークホルダーの参画を得て、透明性、公平性、中立性を確保しつつ、社会システムや産業構造の全体の見取り図である「アーキテクチャ」を設計し、デジタル時代に必要となる分野横断的な社会インフラの構築とその普及活動に取り組んでいる。

このたび、情報処理の促進に関する法律(昭和45年法律第90号)に基づいて、民間からスマートビルのアーキテクチャ設計についての検討の依頼を受けた。それらの依頼を受け、DADCは、関係省庁の支援のもとで、スマートビルのアーキテクチャ設計の検討を開始し、スマートビルに関わる各領域の有識者等により構成する「スマートビル将来ビジョン検討会」を組織することとし、スマートビルが活用され、社会的課題の解決や産業の発展に繋がる将来像を具体化し、スマートビルに関する企画、設計、施工、維持管理及び関連サービスを行う者が異なる複数の関連する情報処理システムの連携の仕組み(アーキテクチャ)を描く活動を行う。

2. 検討会の構成等

- a. 検討会は、別紙に掲げる委員等により構成する。
- b. 検討会は、必要に応じて委員を変更することや、関係者の出席を求めて意見を聞くこと、オブザーバーとして関係者の参加を認めることができる。

3. 検討会及び議事等の公開

- a. 検討会、その議事及び資料は、原則として公開する。ただし、その内容に鑑み、営業秘密の保護その他の観点から公開することが適切でないと判断される場合には、これを非公開とする。

4. 庶務

- a. 検討会の庶務は、経済産業省の協力を得て、独立行政法人情報処理推進機構(デジタルアーキテクチャ・デザインセンター)において処理する。

スマートビル将来ビジョン検討会 委員名簿

[五十音順、敬称略]

- 池田 靖史 東京大学 特任教授/建築情報学会 会長
- 石井 周作 三菱電機ビルソリューションズ株式会社 日本事業統括本部
事業推進本部 副本部長 執行役員
- 板谷 敏正 プロパティデータバンク株式会社 代表取締役会長
- 齊藤 裕 (独)情報処理推進機構 デジタルアーキテクチャ・デザインセンター長
- 澤本 泉 セコム株式会社 営業第三本部本部長 執行役員
- 清水 優 清水建設株式会社 エンジニアリング事業本部長
- 竹田 真二 森ビル株式会社 営業本部オフィス事業部 営業推進部 部長
- 長島 聡 きづきアーキテクト株式会社 代表取締役
- 増森 毅 大阪公立大学 学術研究推進本部 特任教授/協創研究推進部門
産学官協創 マネージャー/大阪府エネルギービジネス推進事業 エキスパート

(役職は令和4年9月現在)